

年号	西暦	事 跡	社会の情勢
慶応3	1867	3月1日岐阜県に佐久間國三郎の長男として生まれる	大政奉還
明治13	1880	慶応義塾入学	
18	1885	渡米し、パシフィック大学入学	
20	1887	帰国し、新聞広告取扱所、博聞雑誌社開業 ジャパンガゼット社に入社、武藤姓に改名 「米国移住論」を著す。後藤象二郎の秘書となる	日清戦争勃発
21	1888	ドイツ系貿易会社、東京イリス商会に入社	
26	1893	三井銀行に入社、神戸支店副支配人に就任	
27	1894	鐘紡に入社、兵庫工場支配人に就任	
28	1895	渥美千世子と結婚	日英同盟
32	1899	鐘紡支配人に就任	
35	1902	「紡績大合同論」を著す。	
36	1903	注意箱の設置、社内報の発行(日本初)	日露戦争(1904)
38	1905	鐘紡共済組合設立、三井銀行鐘紡株売却	ポーツマス条約
39	1906	鈴木久五郎による鐘紡株買占め事件	第一次世界大戦勃発
40	1907	鐘紡を退任、鈴木久五郎破産	
41	1908	鐘紡に復帰、外資導入に成功(日本初)	
大正3	1914	軍事救護法の成立に努力	
6	1917	軍事救護法の成立	
8	1919	大日本実業組合連合会の委員長就任 第1回国際労働会議(ILO)に雇用者側日本代表として出席	パリ講和会議
10	1921	鐘紡社長に就任。「政治一新論」を著す	関東大震災起こる
12	1923	実業同志会を設立、委員長就任	
13	1924	衆議院議員に当選(実業同志会11名当選)	
14	1925	「実業読本」を著す	第一回普通選挙法
昭和3	1928	第一回普通選挙で衆議院議員に当選(実業同志会4名当選)	世界大恐慌
4	1929	実業同志会を国民同志会と改称	
5	1930	鐘紡社長を辞任。衆議院議員に当選(同志会6名当選)	金解禁実施
7	1932	時事新報社経営を引受ける。 社団法人国民會館設立。	国際連盟脱退
8	1933	国民會館が完成、開会式出席。	
9	1934	暴漢に襲われ翌3月10日死去	帝人疑獄事件